

土屋禮一氏の日本画「紅葉譜」が 町役場2階公室に設置されました



「紅葉譜」と作者の土屋禮一氏

養老町出身で名誉町民である日本画家・土屋禮一氏の作品「紅葉譜」が町役場2階公室に設置されました。土屋氏は、日本芸術院会員、公益社団法人 日展の副理事長を務めるなど、現代日本を代表する日本画家の一人として活躍され、昨年の秋には、芸術文化の分野での顕著な功績が認められて旭日中綬章を受章されました。風景画を中心に描かれる作品はどれも高く評価されており、代表作である「赤い沼」は文化庁に買い取りを受けました。また、令和の皇位継承の際の大嘗祭後に行われた大饗の儀において、皇居・宮殿の豊明殿に飾られた「主基地方風俗歌屏風」の制作も担当されました。

今回、町制施行70周年のレガシーとして購入した「紅葉譜」は、どこかなつかしさを感じさせる土屋氏らしい作品となっており、令和2年の日本美術展覧会に出品されていました。その後、令和7年6月までは総理大臣官邸に飾られ、令和8年1月からふるさとである“養老町”に飾られることとなりました。これも土屋氏が大切にされている「有由有縁」の言葉のとおり、偶然ではなく、理由があって結びついているように思われます。この「紅葉譜」について、土屋氏の意向を踏まえ、町民の皆さまにも広くご観覧いただけるよう、下記の日程で一般公開することとしましたので、お気軽にお越しください。

「紅葉譜」の一般公開のお知らせ

日時：2月7日(土)・8日(日)・11日(水・祝) いずれも10時～16時
場所：町役場2階 公室

問 企画財政課 ☎32-1102